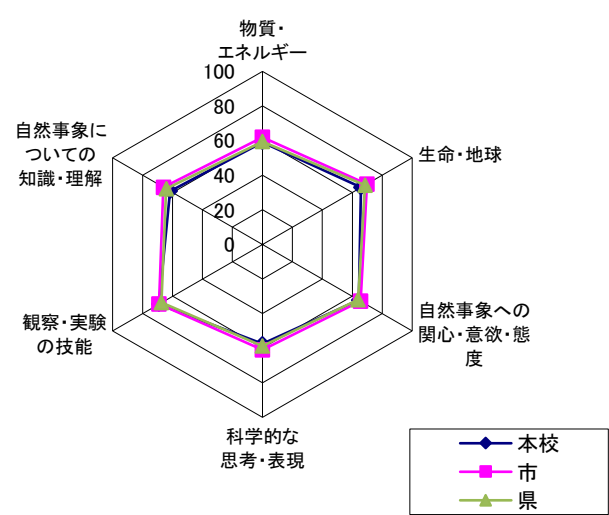


宇都宮市立横川中央小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	59.0	61.9	59.4
	生命・地球	65.8	69.8	68.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	64.3	65.6	63.9
	科学的な思考・表現	57.5	61.0	58.8
	観察・実験の技能	69.1	69.0	67.4
	自然事象についての知識・理解	61.6	66.1	64.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	●平均正答率は59.0%で、県より0.4ポイント下回っている。 ○「光のせいしつ」の「日光を集めた部分の大きさと明るさや温度との関係について理解している。」の正答率は79.5%で、市よりも5.5ポイント上回っている。 ○「じしゃくのせいしつ」の「磁石のどのような性質を調べるための実験か推測することができる。」の正答率は75.0%で、市よりも3.8ポイント上回っている。 ○「電気の通り道」の「回路について理解している。」の正答率は60.2%で、県よりも7.2ポイント上回っている。 ●「光のせいしつ」の「日光を集めて火をおこすことができる道具を推測することができる。」の正答率は58.0%で県よりも7.2ポイント下回っている。 ●「じしゃくのせいしつ」の「磁石の極の性質について理解している。」の正答率は39.8%で、県よりも16.9ポイント下回っている。	・問題の解き直しやフォローアップシートで復習するとともに、観察や実験を通して実感を伴った理解を図るようにする。 ・「光の性質」や、「磁石の性質」について復習し、知識・理解の定着を図る。 ・観察や実験をするときに、その目的や手順、結果をしっかりと押さえた考察ができるように支援する。 ・観察や実験の授業では、キーワードを提示し、それを用いて考察文を書くことに慣れさせる。 ・問題文を正しく読み取ることができるよう、国語科との関連を図りながら、文を正しく読み取ることができるようにする。
生命・地球	●平均正答率は65.8%で、県より2.7ポイント下回っている。 ○「身近なしぜんのかんさつ」の「ダンゴムシを正しく観察することができる。」の正答率は94.3%で、県よりも8.0ポイント上回っている。 ○「こん虫の育ち方」の「トンボの育ち方を理解し、ヤゴを正しく飼うことができる。」の正答率は76.1%で、県よりも14.9ポイント上回っている。 ●「太陽と地面のようす」の「太陽とかげの動きについて理解している。」の正答率は10.2%で、県よりも21.4ポイント下回っている。 ●「こん虫のからだのつくり」の「昆虫のからだのつくりを理解している。」の正答率は72.7%で、県よりも14.3ポイント下回っている。 ●「植物の育ち方」の「植物のからだのつくりを理解している。」の正答率は80.7%で、県よりも10.5ポイント下回っている。	・問題の解き直しやフォローアップシートで復習する。 ・「太陽と地面の様子」の内容について、かげの変化の仕方と太陽の動きを関連付けて考えられるように指導する。 ・昆虫や植物のからだのつくりについては、補充プリントで復習し、定着を図る。 ・自然観察をする際は、めあてや観察のポイントを事前に提示し、自然現象について興味・関心を高めてから、活動に取り組めるようにする。